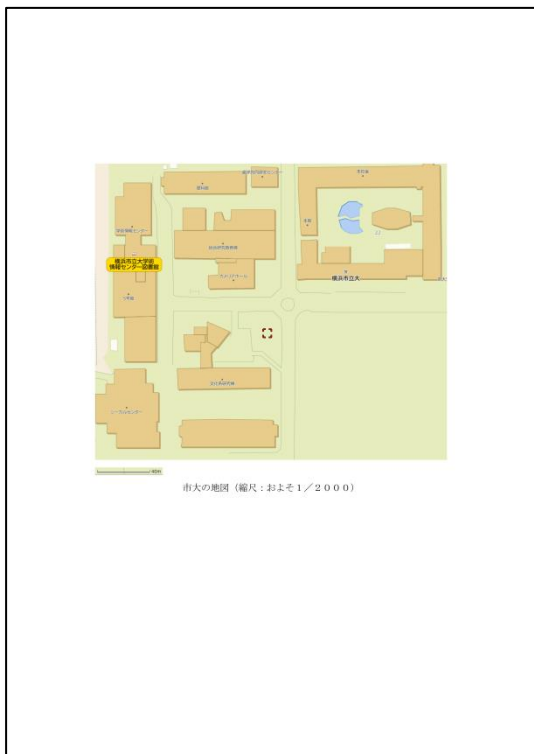
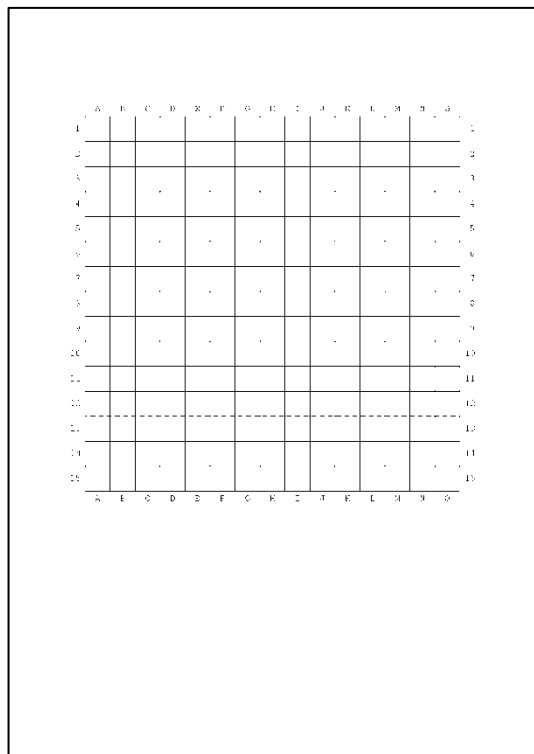


GIS_ex02.pdf の処理手順

1. 配布された資料または GIS_ex02.pdf を印刷したものをいずれかの方法で加工したものを準備
 - 2 ページ目と 3 ページ目はダブルトレース紙(厚手のトレーシングペーパー, またはコピー機使用可能と表示のあるトレーシングペーパー) に印刷したものを使うと作業がしやすい
 - ★普通のトレーシングペーパーはプリンタやコピー機の故障の元になるので使わないこと
 - 2 ページ目と 3 ページ目はそれぞれ約 1cm, 約 5mm 間隔のグリッドなので, 市販のグラフ用紙・方眼紙でサイズの合うものを使うのも手です
 - 簡便に行うなら, オリジナルの地図を印刷し, 印刷した地図の上にグリッドのページをさらに印刷するのも手です(1 ページ目を印刷した紙に, 2 ページ目あるいは 3 ページ目をさらに印刷する～次ページの作業イメージを参照～印刷済みの用紙への重ね印刷は紙詰まりの原因になるので一般的には推奨しません)。→授業の HP には重ねあわせたイメージも GIS_ex02_overlayed.pdf として掲載しています。
2. 1 ページ目(市大の地図)に 2 ページ目(粗い方)のグリッドを重ねたもの(または印刷した GIS_ex02_overlayed.pdf)を, グリッドのセルごとに読み取り, その結果を数値で記入
 - 建物のあるセルは 1 を記入
 - 建物のないセルは未記入のまま
 - 建物の有無は
 - 1) セル内の建物の面積割合
 - 2) セル内の特定の点(中心など)における状態のどちらか同じ方針で処理
3. 余力があれば, 適当な Excel シートを作り, 作業結果を数値で入力
4. 同じ作業をより細かいグリッド(GIS_ex02.pdf の 3 ページ目)で実行
5. 元の地図と比べた再現性を両方で比較



1 ページ目



2 ページ目

↓
印刷した 1 ページ目に 2 ページ目を重ね印刷
↓

